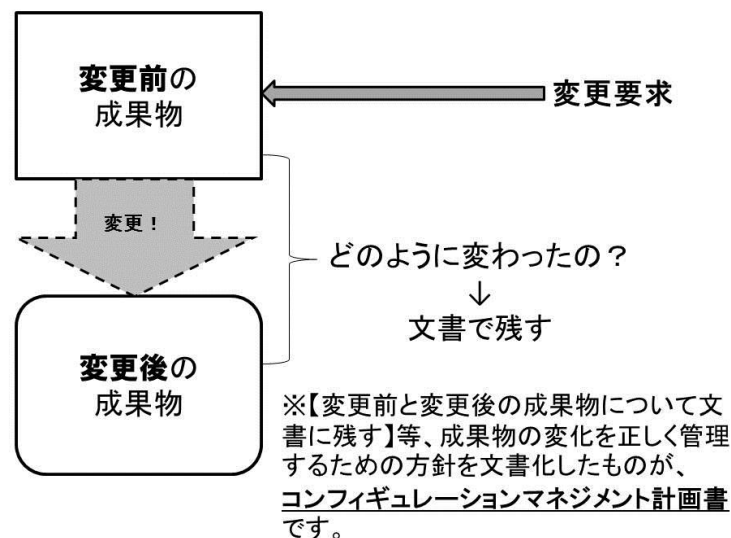


プロジェクトマネジメント講座

4.2 統合マネジメント プロジェクトマネジメント計画書作成

プロジェクトマネジメント計画書とは…

- ◆ 立ち上げプロセス群の情報（主に企画書であるプロジェクト憲章）をベースに計画
- ◆ 各知識エリアの補助計画書（Subsidiary plans）・ベースライン（スコープ・スケジュール・コスト）をまとめる
 - ★ベースラインとは？
どのようなもの（スコープ）を、いつまで（スケジュール）に、いくら（コスト）で作るのか？それらのことが明確になり、最終的に承認された計画のこと
- ◆ 変更管理の手続きを含める→ 変更管理計画書・コンフィギュレーションマネジメント計画書に関わりがある
- コンフィギュレーションマネジメント計画書とは…
→プロジェクトを通して生み出される製品・サービス・所産等の成果物の特性を記載し、その特性について変更管理を含んだ計画書。例えば以下の図のとおり。



たとえば、クライアント、もしくは社内上層部から変更が上がった場合、その変更が正しく成果物に反映されているのかを明確にする必要がある。そのための方針書が、コンフィギュレーションマネジメント計画書。

- 変更管理計画書とは…
→ステークホルダーからの変更が提案された場合の、公式に文書化された変更管理手続・承認などを行う手順（変更のルール）を文書化したもの

4.2.1 プロジェクトマネジメント計画書作成【インプット】

- 他のプロセスからのアウトプット（Output from Other Processes）
→主に *PMBOK®Guide* の第 5 章～第 13 章までの計画プロセス群のアウトプット（ベースラインと補助計画書）

4.2.3 プロジェクトマネジメント計画書作成【アウトプット】

- プロジェクトマネジメント計画書

計画プロセスで作成したすべての補助計画書および、ベースラインを統合し、集約した計画書。集約するものは以下のものです。

- ・ スコープマネジメント計画書（スコープ）／ 要求事項マネジメント計画書（スコープ）
- ・ 変更管理計画書（変更処理）／ コンフィギュレーションマネジメント計画書（変更処理）
- ・ スケジュールマネジメント計画書（タイム）
- ・ コストマネジメント計画書（コスト）
- ・ 品質マネジメント計画書（品質）／プロセス改善計画書（品質）
- ・ 人的資源マネジメント計画書（人的資源）
- ・ コミュニケーションマネジメント計画書（コミュニケーション）
- ・ リスクマネジメント計画書（リスク）
- ・ 調達マネジメント計画書（調達）
- ・ ステークホルダーマネジメント計画書（ステークホルダー）
- ・ スケジュールベースライン
- ・ コストベースライン
- ・ スコープベースライン

また、【プロジェクト文書】というのがあります。これは、プロジェクトマネジメント計画書と関わり深いものです。プロジェクトマネジメント計画書は、主に補助計画書とベースラインで構成されていますが、プロジェクト文書は、プロジェクトの教訓として残しておくため、プロジェクトを進行していく中で作成された文書をまとめておく保存フォルダです。プロジェクト文書の掲載内容は主に以下のものです。

- ・ アクティビティリスト・アクティビティコスト見積り
- ・ 契約・プロポーザル・調達文書
- ・ 品質管理測定結果
- ・ リスク登録簿
- ・ 課題ログ
- ・ チームのパフォーマンス評価
- ・ プロジェクト憲章
- ・ 作業パフォーマンスデータ
- ・ 作業パフォーマンス情報
- ・ 作業パフォーマンス報告書 等

4.3 統合マネジメント プロジェクト作業の指揮・マネジメント

プロジェクト作業の指揮・マネジメントとは…

- ① プロジェクトマネジメント計画書で定義された作業を実行（正式な作業認可）
- ② 統合変更管理で承認された変更部分の実行

↓結果として

成果物が完成し、作業パフォーマンスデータにまとめられる

- 成果物（deliverables）
有形・無形のもので、プロジェクトを通して作成される、固有で検証可能なサービス・製品等
- 作業パフォーマンスデータ
プロジェクトマネジメント計画書通りに、アクティビティをこなしたかをまとめた文書。作業実績データのこと。

<i>PMBOK®Guide</i> 第4版での名称	<i>PMBOK®Guide</i> 第5版での名称	内容
作業パフォーマンス情報 (Work Performance information)	作業パフォーマンスデータ (Work Performance data)	端的には“ 実績値 ” 『プロジェクト作業を遂行するために実施されているアクティビティ中に特定した観察・計測値』
—	作業パフォーマンス情報 (Work Performance information)	端的には“ 実績値を情報化したもの ” 『知識エリア横断的な関係性を基に統合し、様々はコントロールプロセスの分析から集めたデータ』
実績報告書 (Performance reports)	作業パフォーマンス報告書 (Work Performance reports)	端的には“ 報告書 ” 『作業パフォーマンス情報を物質的に電子的に表したもの』

- 変更要求
変更要求の種類は以下の4つ。
是正処置（Corrective action）…実績値を計画値に戻す方法（ベースラインを変えない）
予防処置（Preventive action）…今後、実績値がずれないように対処する方法（ベースラインを変えない）
欠陥修正（Defect repair）…要求事項を満たしてない為、成果物を修正する場合の方法（ベースラインを変えるかも？）
更新（Updates）…ステークホルダーからの追加のアイデア（ベースラインを変えるかも？）

4.3.2 プロジェクト作業の指揮・マネジメント【ツールと技法】

- プロジェクトマネジメント情報システム（Project Management Information System【PMIS】）
⇒KPI（key performance indicators：重要業績評価指数）が含まれる
プロセスの実施状況を確認するために、パフォーマンスを定量的に評価する指標（例：顧客訪問回数、解約件数等）
- 会議
“会議（meetings）”の参加者は主にPM、メンバーとなります。またトピックの処理によって影響をうける適切なステークホルダーも参加者に加わるため、状況によっては、クライアントなどもミーティングに加わることが想定できる。“ミーティング”には、情報交換やブレインストーミング、意思決定が含まれる。